
Another snow. - 鈍感彼氏と弱虫彼女 -

澪奈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Another snow - 鈍感彼氏と弱虫彼女 -

【ZPDF】

Z0240BA

【作者名】

澪奈

【あらすじ】

snow.(http://ncode.syosetu.co
m/n9789z/)の杏奈視点での物語です。

(前書き)

以前投稿したsnow.(http://ncode.syosetu.com/n9789z/)のもう一つの物語です。そちらを読まれてから読んでいただけると嬉しいです。

「なんでこんなことなつちゃったんだろ・・・」

そう心の中でつぶやきながら一人で廊下を歩いていく。

今は夕方。帰宅部はもう帰り、部活に入ってる人はだいだい部活動中。

そんな人の気配がない廊下を歩いているあたしは浅田杏奈。朝比奈高校の二年八組。

こんなにあたしを悩ます相手は電車の時間がとか言って一足早く帰ってしまった。

名前は瀬田蒼太。隣のクラスの男子。

そして私の、初恋の人。

始めて出会ったのは小学校三年生のときだった。

向こうは全然覚えてないみたいだけど。

今よりずっと内気だつたあたしはクラスで男子のからかいの対象になっていた。

その中心の男子があたしのことが好きでいじめてたなんて知ったのはだいぶ後のことなんだけど。

そんなわけで当時学校がだいっさいだった。

でも・・・そんななかでも毎日学校に通えていたのは隣に住んでいたアイツのおかげだった。アイツが助けてくれていたから。

多分アイツは助けたなんて思っていないんだろう。クラスメイトに普通に接していた程度にしか思っていない。

そういうところが好きだった。

でもあたしは転校してしまった。気持ちを伝えられないまま。

だから高校になってアイツと同じ学校だつて気がついたとき本当に嬉しかった。だってまだ好きだったから。

しかも一年になって隣のクラスになって、しかも告白までされたの

に、なのに、なのに、なんで、

「なんであたしあの時ふつちゃつたんだる~ー。」

「杏奈姉^{つねわい}るわい。」

声をかけてきたのは、一つ下の弟樹^{こつき}。家に帰ってきて自分の部屋で悩んでいたりひとり言が漏れてしまつたらしい。

「『めんー。』

一応謝つておいてからまた考え方に戻る。

そう、あたしは瀬田蒼太の告白を断つてしまつた。しかも好きな人がいるから、つて・・・

あの時はびっくりして、テンパつてて、気がついたら、言つてしまつていた。

しかも好きな人を浅葱君だと誤解されて、協力するなんて言われて、しかも浅葱君に告るなんて・・・

「どうやつてしまつていうのさあつー！」

「あへん~なあつー！」

「きやあつ『めんつー！』

また樹に注意されてしまった。

「つたく・・・またソフトボール？」

「・・・は？」

杏奈ほんとソフトだめだもんなあ、なんていつて樹はもう納得してしまつている。

「え・・・ちょ、ちがつ」

「隠さなくつていいつて。あと、杏奈がボールが打てない理由は思いつきり打たないからだよ。」

「え・・・？」

「杏奈姉打つ前にいろいろ考えて思い切りがなくなるんだよ。だからまには全力で振つてみなつて。な？」

そういうつて笑いかける弟の言葉は全然的外れなこと言つてるはずなのにあたしの胸に染みた。

「うん・・・私がんばってみようかな。」

「まあ伊達に俺も彼女いないしね。」

「・・・え?」

「ひこうこと?ソフトの話じゃ・・・

呆然とするあたしをよそに樹は悠々と部屋を出て行った。

・・・でも、がんばってみようかな。

鈍感なアイツと弱虫なあたし。

弱虫なあたしがどれだけ思い切りバットを振れるかわからんないけど、
でもキモチを伝えたいから。

それだけ決心すると杏奈は手紙を書き始めた。

鈍感彼氏と弱虫彼女が両想いになるのはもう少し後の話のこと。

(後書き)

澪奈です。

第一弾です（笑）

感想、アドバイス等お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0240ba/>

Another snow. - 鈍感彼氏と弱虫彼女 -

2011年12月31日16時59分発行